

illustration by Takao Nakagawa



column | RAMPWAY 15

首都高名所案内

有明 倉庫街の フェリー乗り場

コラムニスト

泉 麻人

豊洲から「ゆりかもめ」に乗って有明方面へ向かった。ラッキーにも一番前の席があいていたので、そこに座って車窓を眺めていると、新豊洲のあたりからはクレーン車やブルドーザーが入った工事現場が目につくようになってきた。市場前（やがて築地市場が移ってくる）の駅の先で高架線は大きく左にカーブを切って、運河を渡ると有明地区。「有明テニスの森」で降車して、歩き始めた。

シユがよく食べにくる……という噂が流れていた。周辺は昔と同じく倉庫が並んでいるが、この辺は2020年オリンピックのマリンスポーツ会場に指定されているはずだから、近い将来また街並はかなり変わるのかもしれない。

向かいの有明コロシアムの横をぬけていくと、一带はテニスの森の名とおり、緑地内にテニスコートがいくつも置かれている。久しぶりに意識してテニス風景を眺めたが、そうか……いまどきの女子はあの白いスカートではなく、ショートパンツでプレーするのがあたりまえになったのだ。

首都高の上をまたぐコロシアム橋を渡って南側へ行くと、正面にピラミッドを逆さにしたような「ビッグサイト」の印象的な建物が見えてくる。ビッグサイトでは例年、本のフェア^①が催されるので、僕もそういうイベントの折に何度か訪ねた。しかし、お台場や有明、といったベイエリアのニュータウンは、大方マス目のわかりやすい区画なのに、どうも物件の位置関係がはっきりしない。さつき通り^②があったビル^③の所にまたやってきてしまったような錯覚をおこす。

駅脇に見えるディファ有明という施設、いまは格闘技専門のホールになっているようだが、玄関口が階段になった三角屋根の建物はなんとなく見覚えがある。そう、ここは80年代のバブルの頃、エムザ有明というライブハウスの頃、エムザを融合した大型ディスコだった所だ。何度か遊びにきたことがあったが、確かレストランの名物がワニ料理で、当時ヤクルトスワローズにいたワニ好きの助っ人外国人・パリッ

フェリー埠頭入口^④の表示が出た交差点から、有明埠頭橋を渡ると、あたりの住所は有明4丁目になった。「倉庫」「物流」などの看板を出した、地味なビルがずっと奥の方まで続いている。最初の交差点の角に〈沖繩 奄美フェリー〉と記した小さな看板を見つけて、矢印どおりに右折すると、やがて道端に沖繩や奄美の運輸会社の名を記したコンテナが目につきはじめた。おっ、この辺にフェリーの乗り場があるのだろう。横手の埠頭へ入っていくと、「かりゆし」という沖繩行の貨物船が停泊していたが、一般客の姿は見えない。ちょっと先にプレハブ平屋建の素朴な船客待合所がひっそりと存在していた。人気のない待合所のベンチに座ってタイムテーブルを眺めると、ここから旅客フェリーが出るのは、4、5日に1度の割……。有明のこんな場所に、南の島への窓口があるとは知らなかった。

① いずみ あさと／1956年、東京都新宿区生まれ。慶應義塾大学商学部卒業。79年、東京ニュース通信社に入社。「週刊TVガイド」などの編集者を経て、フリーのコラムニスト。近著に『東京いつもの喫茶店』（平凡社）がある。

2 コラム RAMPWAY
泉 麻人

特集 オリンピック

5 東京は進化する
東京都技監 都市整備局長 兼務
藤井寛行

8 バリアはどこにある？
冬季パラリンピック アルペンスキー 金メダリスト
日本パラリンピアンズ協会 副会長
大日方邦子

12 コラム バイ・ザ・ウェイ 太田治子

14 CHALLENGE
オリンピックに挑む

15 データ物語
1964年ごろの首都高は？

16 首都高HEADLINE

18 business essay
スポーツ流体力学ってなに？
筑波大学 体育系 教授
浅井 武

20 つくる人まもる人
首都高電気メンテナンス株式会社
北條勝彦／阿部貴志

22 高速百景 中野正貴

cover photo by Minoru Saito
contents produced by
Metropolitan Expressway Company Limited